

日本農学アカデミー 第19回総会報告

第19回総会は、平成28年7月30日（土）13時00分より東京大学大学院農学生命科学研究科フードサイエンス棟2F中島董一郎記念ホールで行われた。出席会員数は143名（含：委任状110名、欠席71名）で総会は成立した。総会では下記の議案について審議が行われ、いずれの議案も承認された。総会に先立ち開催された理事会には、理事18名（含：委任状2名）、監事2名が出席した。

なお、総会終了後14時00分よりミニシンポジウムとして「農転換期の日本社会と新たな食料・農業・農村基本計画」が開催された。今回は、今秋の本シンポジウムへ向けた勉強会であったため会員のみ案内を出したが、多くの会員の出席があり、活発な議論がなされ盛会であった。

日本農学アカデミー第19回総会 総会資料

【第1号議案】平成27年度事業報告（案）について

- 1 会員数の状況：正会員 208 名（特別顧問 8 名を含む。）、賛助会員 3 団体
（平成 27 年度末現在）
平成 27 年度の入会者 8 名、退会者 16 名

- 2 シンポジウムの開催

- 3 ミニシンポジウムの開催

日 時：平成 27 年 7 月 25 日（土）14：30～17：15

場 所：東京大学農学部フードサイエンス棟 2 階中島董一郎記念ホール

テーマ：「農転換期の日本社会と新たな食料・農業・農村基本計画」

内 容：解題：基本計画とは何か

名古屋大学大学院生命農学研究科教授 生源寺眞一

基調講演：新基本計画の枠組みと課題

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 中嶋康博

魅力ある農山漁村づくりと基本計画

大阪市立大学大学院創造都市研究科准教 松永桂子
新たな研究基本計画のポイント
農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課長 寺田博幹
消費者の視点から基本計画を考える
日本生活協同組合連合会副会長 新井ちとせ
基本計画をどう受け止めるか：国民に伝える立場から
日本経済新聞編集委員 吉田忠則

4 会報の発行

会報については、平成 20 年度から冊子での発行をやめ、ホームページに掲載しているが、平成 27 年度は第 23 号（6 月）及び第 24 号（12 月）を作成し、ホームページに掲載した。

なお、平成 28 年度前期発行の会報第 25 号については、去る 6 月 25 日、ホームページに掲載した。

5 学術シンポジウム等の後援及び助成

理事会の承認を受け、次のシンポジウム等の後援及び助成を行った。

- (1) 「東三陸から農林水産業の未来を考える＝大震災の経験を糧に」
- (2) 「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2015 福島ワークショップ」
- (3) 「東日本大震災による原子力発電所事故に伴う魚介類の放射能汚染の問題と今後の展望」

6 総会、理事会等の開催

(1) 幹事会の開催

日時 平成 27 年 5 月 1 日（金）16：00～17：00
場所 東京大学弥生講堂 2 階（公財）農学会事務室
議題 ① 第 18 回総会の開催日時及び場所について
② 第 18 回総会の議案案件について
③ 理事会の開催について
④ シンポジウム等の開催について
⑤ その他

(2) 理事会の開催

日時 平成 27 年 7 月 25 日（土）11：30～12：30
場所 東京大学農学部 3 号館 1 階 141 会議室
議題①第 18 回総会の議案案件について
②役員等の報酬並びに費用に関する申し合わせについて

- ③ 学術シンポジウム等の助成に関する規程について
- ④ ミニシンポジウムの開催について
- ⑤ その他

(3) 第 18 回総会の開催

- 日時 平成 27 年 7 月 25 日 (土) 13 : 30~14 : 30
- 場所 東京大学農学部フードサイエンス棟 2 階中島董一郎記念ホール
- 議題
- ① 平成 26 年度事業報告 (案) について
 - ② 平成 26 年度収支決算 (案) について
 - ③ 平成 27 年度事業計画 (案) について
 - ④ 平成 27 年度予算 (案) について
 - ⑤ その他

7 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報第 23 号及び第 24 号を掲載するなど内容の充実を図った。

【第 2 号議案】平成 27 年度収支決算 (案) について
(別紙④及び別紙⑤参照)

【第 3 号議案】平成 28 年度事業計画 (案) について

- 1 会員の拡大
- 2 会報第 25 号及び第 26 号の作成
- 3 ミニシンポジウム (7 月) の開催 (別紙⑥参照)
- 4 シンポジウム (11 月) の開催等 (別紙⑦参照)
- 5 学術シンポジウムの助成及び後援
- 6 総会、理事会等の開催
- 7 ホームページの充実
- 8 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び会長談話等の発出
- 9 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

【第 4 号議案】平成 28 年度予算 (案) について

平成 27 年度の新入会員

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月の間に新たに会員となられた方。)

一般会員 (8 名)

1. 高野克己 東京農業大学学長
2. 恒川篤史 鳥取大学乾燥地研究センターセンター長
3. 本多健一郎 農研機構 野菜茶業研究所所長
4. 竹中重仁 農研機構 近畿中国四国農業研究センター所長
5. 和田時夫 水産研究・教育機構理事
6. 小田切徳美 日本学術会議第二部会員、明治大学農学部教授
7. 関崎 勉 日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授
8. 安中正美 前国際農林水産業研究センター理事、NTC インターナショナル(株)副社長

平成 27 年度の退会会員

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月の間に退会された方。)

一般会員 (16 名)

1. 尾関秀樹 元農研機構 近畿・中国四国農業研究センター所長
2. 小川智也 理化学研究所和光研究所所長
3. 松井佳久 島根大学教育学部特任教授
4. 村上和雄 筑波大学名誉教授
5. 熊谷日登美 日本大学生物資源科学部教授、日本学術会議連携会員
6. 清野 豁 農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター総括研究リーダー
7. 本吉總男 元岡山大学資源生物科学研究所所長
8. 長谷川美典 元農研機構 果樹研究所所長
9. 佐藤 寛 元農研機構 農業工学研究所理事長
10. 土肥宏志 農研機構 畜産・草地研究所所長
11. 木口憲爾 信州大学名誉教授
12. 田淵 清 麻布大学名誉教授
13. 箕輪光博 (公社) 大日本山林会名誉会長
14. 清水 浩 京都大学大学院農学研究科教授、日本学術会議連携会員
15. 太田猛彦 東京大学名誉教授、第 18・19 期日本学術会議会員
16. 出口吉昭 (逝去) 日本大学名誉教授

平成 28 年度の新入会員

(平成 28 年 4 月～ 新たに会員となられた方。)

一般会員 (11 名)

1. 長谷部 亮 農研機構 理事
2. 村上ゆり子 農研機構 理事
3. 勝田真澄 農研機構 北海道農業研究センター 所長
4. 梅本 雅 農研機構 中央農業研究センター 所長
5. 島田和宏 農研機構 果樹茶業研究部門 部門長
6. 樫村芳記 農研機構 畜産研究部門 部門長
7. 鍋谷浩志 農研機構 食品研究部門 部門長
8. 矢野昌裕 農研機構 次世代作物開発研究センター 所長
9. 渡邊朋也 農研機構 農業環境変動研究センター 所長
10. 坂本研一 農研機構 動物衛生研究部門 部門長
11. 山本徳司 農研機構 農村工学研究部門 部門長

平成 28 年度の退会会員

(平成 28 年度末にて退会予定の方。)

一般会員 (9 名)

1. 高橋迪雄 秋田県立大学名誉教授
2. 水本忠武 元宇都宮大学農学部長
3. 菅野長右門 元宇都宮大学学長
4. 飯塚敏彦 北海道大学名誉教授
5. 橘 燦郎 愛媛大学農学部教授
6. 中村征夫 岐阜大学名誉教授
7. 田辺信介 愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授
8. 津田知幸 元農研機構 動物衛生研究所所長
9. 桃木芳枝 元東京農業大学大学院生物産業学研究科教授

平成 27 年度シンポジウムの開催実績

1. 「転換期の日本社会と食料・農業・農村基本計画 2015」

日時：平成 27 年 11 月 7 日（土）13：00～17：30

場所：東京大学農学部弥生講堂

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科

内容：

- | | | |
|---------------------------|-----------------------|-------|
| 総合司会 | (国研) 農研機構副理事長 | 佐々木昭博 |
| ・基本計画とは何か—解説とシンポジウムの狙い | 名古屋大学大学院生命農学研究科教授 | 生源寺眞一 |
| ・基調講演：新基本計画の枠組みと課題 | 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 | 中嶋康博 |
| ・新研究基本計画と農林水産研究の方向 | 農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官 | 中谷 誠 |
| ・農業経営の現場から基本計画に思う | (公社) 日本農業法人協会副会長 | 近藤一海 |
| ・消費者の視点から基本計画を考える | 生活協同組合コープみらい執行役員 | 山内明子 |
| ・基本計画をどう受け止めるか：国民に伝える立場から | 日本経済新聞編集委員 | 吉田忠則 |
| ・総合討議 | 司会 | 生源寺眞一 |

2. 「食料は足りるのか」

日時：平成 28 年 3 月 12 日（土）13：00～17：30

場所：東京大学農学部弥生講堂

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、毎日新聞社、(株)ワールドウオッチジャパン

内容：

- | | | |
|---------------------------|--------------------|-------|
| ・世界の食料問題と日本のポジション | 名古屋大学大学院生命農学研究科教授 | 生源寺眞一 |
| ・水と気候変動と食料生産 | 東京大学生産技術研究所 | 沖 大幹 |
| ・人間と土壌 | 東京大学名誉教授 | 宮崎 毅 |
| ・魚が獲れなくなることは、「大問題」か？ | 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 | 黒倉 壽 |
| ・1000 億人と扶養するための食料生産挑戦と課題 | 国際農林水産研究センター理事長 | 岩永 勝 |
| ・パネルディスカッション | 司会 | 中嶋康博 |

平成 27 年度支援シンポジウム一覧

1. 「東三陸から農林水産業の未来を考える＝大震災の経験を糧に」

日時：平成 27 年 8 月 8 日（土）13：00～17：40

場所：大船渡市民文化会館・市立図書館

主催：日本学術会議農学委員会・食料科学委員会

共催：日本農学アカデミー、北里大学海洋生命科学部、大船渡市

経費負担：3 万円

2. 「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2015 福島ワークショップ」

日時：平成 27 年 8 月 22 日（土）13：00～18：00

場所：コラッセ福島

主催：日本学術会議農学・食料科学・健康・生活科学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会、農学委員会・食料科学委員会合同農業情報システム学分科会、農芸化学分科会、農学委員会農業経済学分科会、食料科学委員会水産学分科会、畜産学分科会、食の安全分科会

後援：日本農学アカデミー、日本水産学会、東京大学大学院農学生命科学研究科アグリコクーン、東京農工大学、北里大学海洋生命科学部等

経費負担：3 万円

3. 「東日本大震災による原子力発電所事故に伴う魚介類の放射能汚染の問題と今後の展望」

日時：平成 27 年 11 月 27 日（金）10：00～17：10

場所：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議食料科学委員会水産学分科会

共催：水産・海洋科学研究連絡協議会、日本農学アカデミー、日本水産学会等

後援：大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、水産海洋学会等

経費負担：3 万円

日本農学アカデミー 平成27年度収支決算書 (案)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
I 収入の部				
前年度からの繰越金	3,116,301	3,116,301	0	
会費収入	2,160,000	2,240,000	△ 80,000	正会員分 2,090,000円 賛助会員分 150,000円
預金利息	700	650	50	
収入合計 (A)	5,277,001	5,356,951	△ 79,950	
II 支出の部				
会議費	324,000	478,390	△ 154,390	総会、幹事会、シンポジウム等
諸謝金	400,000	180,000	220,000	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	73,000	46,172	26,828	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	20,000	6,150	13,850	事務用消耗品
印刷製本費	153,000	76,402	76,598	封筒、 シンポジウムチラシ・ポスター
図書購入費	990,000	1,048,050	△ 58,050	月刊「学術の動向」購入費 (@685*1,530)
学会等助成費	150,000	90,000	60,000	シンポジウムの助成金 (@30,000*3件)
ホームページ管理費	120,000	120,000	0	ホームページ維持管理料
総会・シンポジウム運営費	100,000	100,000	0	
業務委託費	200,000	200,000	0	事務管理費
振込手数料	23,000	23,324	△ 324	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	0	100,000	
支出合計 (B)	2,653,000	2,368,488	284,512	
次年度への繰越金(A)-(B)	2,624,001	2,988,463	△ 364,462	

預貯金残高

内 訳	金 額
現金	0
郵便貯金	45,005
三井住友銀行普通預金	1,943,458
三井住友銀行定期預金	1,000,000
計	2,988,463

監 査 報 告

日本農学アカデミー平成27年度収支決算について監査した結果、適正に会計処理されていることを認めます。

平成28年 5月 27日

日本農学アカデミー

監事 梶浦 一郎 

監事 笹尾 彰 



消費者の 食の選択に 関する疑問 に答える



健康機能性表示をどうみたらよいか／機能性
についての知見と期待／アルツハイマー病と
骨粗鬆症は食事で回避できるか／食と農の
セラピー／現代的食リスク etc.



7月30日(土) 14:00～17:30

東京大学農学部フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール

生鮮を含む機能性表示食品制度の現状と
今後の研究開発

大谷敏郎 会員（農研機構理事、元食品総合研究所所長）

栄養素の機能性と安全性の評価

鳥居邦夫 会員（鳥居食情報調節研究所代表取締役）

話題を呼ぶ水産物の機能性

金庭正樹 研究主幹（水産研究・教育機構 本部研究推進部）

論点整理

司会：三輪睿太郎 理事



日本農学アカデミー事務局

(公財)日本学術協力財団内 担当：末次 TEL 03-5410-0242

日本農学アカデミー・(公財) 農学会共催シンポジウム共催シンポジウムについて

- 1) 平成 28 年 11 月 5 日 (土) 午後、東京大学弥生講堂で開催する。
- 2) テーマは「消費者の食の選択に関する疑問に答える」
【キーワード】健康機能性表示をどうみたらよいか、健康機能性についての知見と期待、アルツハイマー病と骨粗鬆症は食事で回避できるか、食と農のセラピー、現代的食リスクなど
- 3) 7 月 30 日のミニシンポジウム後、11 月 5 日予定の日本農学アカデミー・(公財) 農学会共催シンポジウムの企画委員会を構成する。
【企画委員】鳥居邦夫、岩元睦夫、西野伊史、西澤直子、三輪睿太郎
【講演者候補】1. 大谷敏郎会員
2. 河田照雄氏 (京都大学大学院農学研究科 食品分子機能学分野)
3. 香川靖雄氏 (女子栄養大学副学長、栄養科学研究所所長)
4. 金庭正樹氏 (水産研究、教育機構 本部研究推進部 研究主幹)
5. 鳥居邦夫会員
- 4) 講演者の決定と依頼、開催の案内と広報、要旨の編集の段取りを組み、企画委員会をけしかけて準備をするとともに (公財) 農学会事務局の協力を得て開催を進める。

日本農学アカデミー 平成28年度予算（案）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：円）

科 目	予 算 額	備 考
I 収入の部		
前年度からの繰越金	2,988,463	
会費収入	2,105,000	正会員208名、賛助会員3団体
預金利息	700	平成27年度実績（650円）
収入合計（A）	5,094,163	
II 支出の部		
会議費	484,300	幹事会、理事会、総会、シンポジウム
諸謝金	200,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	74,100	総会等案内、シンポジウム案内等、切手
消耗品費	20,000	事務用消耗品
印刷製本費	109,000	ポスター、封筒等印刷費
図書購入費	994,700	月刊『学術の動向』購入費（121×@685×12月）
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金（@30,000×5件）
ホームページ管理費	120,000	ホームページ更新料等
日本農学進歩賞協賛金※	100,000	（公財）農学会
業務委託費	200,000	事務管理費（（公財）日本学術協力財団）
振込手数料	22,900	会費振込手数料
予備費	100,000	
支出合計（B）	2,575,000	
次年度への繰越金(A)-(B)	2,519,163	

※総会・シンポジウム運営費を変更

第8期日本農学アカデミー役員

(平成27年4月1日)

会長・理事	古在 豊樹	日本学術会議連携会員、千葉大学名誉教授
副会長・理事	會田 勝美	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授
	(総務企画委員会担当)	
副会長・理事	生源寺 眞一	日本学術会議連携会員、 名古屋大学大学院生命農学研究科教授
副会長・理事	西澤 直子	日本学術会議連携会員、石川県立大学教授
副会長・理事	佐々木 昭博	(国研) 農研機構副理事長
	(学術情報委員会担当)	
副会長・理事	西野 伊史	アサヒビール(株)社友
理事	岩永 勝	(国研) 国際農林水産業研究センター理事長
理事	井邊 時雄	(国研) 農研機構理事長
理事	進士 五十八	日本学術会議連携会員、東京農業大学名誉教授
理事	鈴木 和夫	前(独)森林総合研究所理事長
理事	谷口 旭	三洋テクノマリ(株)生物生態研究所所長 ⇒退任
理事	寺島 一男	(国研) 農研機構中央農業総合研究センター所長
理事	長澤 寛道	元東京大学農学生命科学研究科長
理事	廣近 洋彦	(国研) 農業生物資源研究所理事長 ⇒退任
理事	松里 壽彦	元(独)水産総合研究所センター理事長 ⇒退任
理事	松田 幹	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
理事	陽 捷行	(公財) 農業・環境・健康研究所副理事長、 農業大学校校長
	(特別企画担当)	
理事	宮下 清貴	(国研) 農業環境技術研究所理事長 ⇒退任
理事	三輪 睿太郎	日本学術会議連携会員、 農林水産省農林水産技術会議会長
	(広報担当)	
理事	横内 圀生	元(独)農研機構理事・畜産草地研究所長
監事	梶浦 一郎	元NTCインターナショナル(株)技術本部顧問
監事	笹尾 彰	元東京農工大学副学長・理事

(五十音順)

第9期日本農学アカデミー役員

(平成28年7月30日)

会長・理事	古在 豊樹	日本学術会議連携会員、千葉大学名誉教授
副会長・理事	佐々木昭博	(国研) 農研機構副理事長
	(学術情報委員会担当)	
副会長・理事	生源寺真一	日本学術会議連携会員、 名古屋大学大学院生命農学研究科教授
副会長・理事	長澤 寛道	元東京大学農学生命科学研究科長、農学会会長
副会長・理事	西澤 直子	日本学術会議連携会員、石川県立大学特任教授
副会長・理事	西野 伊史	アサヒビール(株)社友
理事	會田 勝美	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授
理事	岩永 勝	(国研) 国際農林水産業研究センター理事長
理事	井邊 時雄	(国研) 農研機構理事長
理事	門脇 光一	(国研) 農研機構生物機能利用研究部門長
理事	進士五十八	日本学術会議連携会員、福井県立大学長
理事	鈴木 和夫	元(独) 森林総合研究所理事長
理事	寺島 一男	(国研) 農研機構理事
理事	中嶋 康博	日本学術会議連携会員、東京大学教授
理事	長谷部 亮	(国研) 農研機構理事
理事	松田 幹	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
理事	陽 捷行	(公財) 農業・環境・健康研究所副理事長、 農業大学校校長
理事	三輪睿太郎	日本学術会議連携会員、 前農林水産省農林水産技術会議会長
理事	和田 時夫	(国研) 水産研究・教育機構理事
理事	横内 圀生	元(独) 農研機構理事・畜産草地研究所長
監事	梶浦 一郎	元NTC インターナショナル(株) 技術本部顧問
監事	笹尾 彰	元東京農工大学副学長・理事

(五十音順)